

# 新型コロナウイルス流行下における 災害対策に関する検討（案）

2020.05.08

# 新型コロナウイルス流行下における災害対策検討の提案

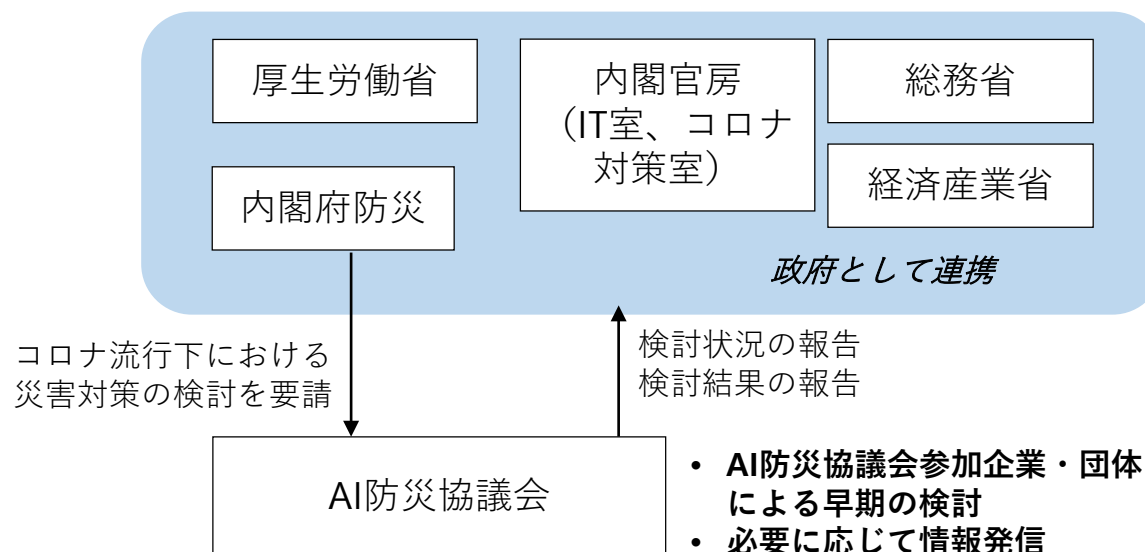
出水期まで数ヶ月と迫っており、新型コロナウイルスの流行状況によっては災害と重なる可能性がある既存の防災施策について、三密との関係性も含めて整理し、ITによる支援可能性を検討する

## ■ 具体的な検討事項（案）

- 災害発生時の避難方法
  - ✓ 避難所が過密にならないように案内する手法
- 避難所／避難場所の設置関係
  - ✓ 避難所が過密状態にならないようにどのように配置
  - ✓ 自宅の垂直避難等、避難所以外の活用
- 避難所／避難場所への支援
  - ✓ 勝手避難所／臨時避難所を含めた支援体制
  - ✓ 物資以外の支援の際のIT活用
- 医療等の支援方法
  - ✓ 感染対策に関する周知方法
  - ✓ 災害地域が緊急事態宣言中の場合の、近隣からの支援方法

## ■ 検討体制（案）

- 内閣官房より要請を受けて、AI防災協議会を中心とした企業・研究機関によって検討を行い、適宜、内閣官房及び内閣府防災に報告する
- 防災に関する知見を有する研究機関、民間企業の知恵を活用することによってより効果的な対応方法を検討し、その成果を政府が活用できる体制とする



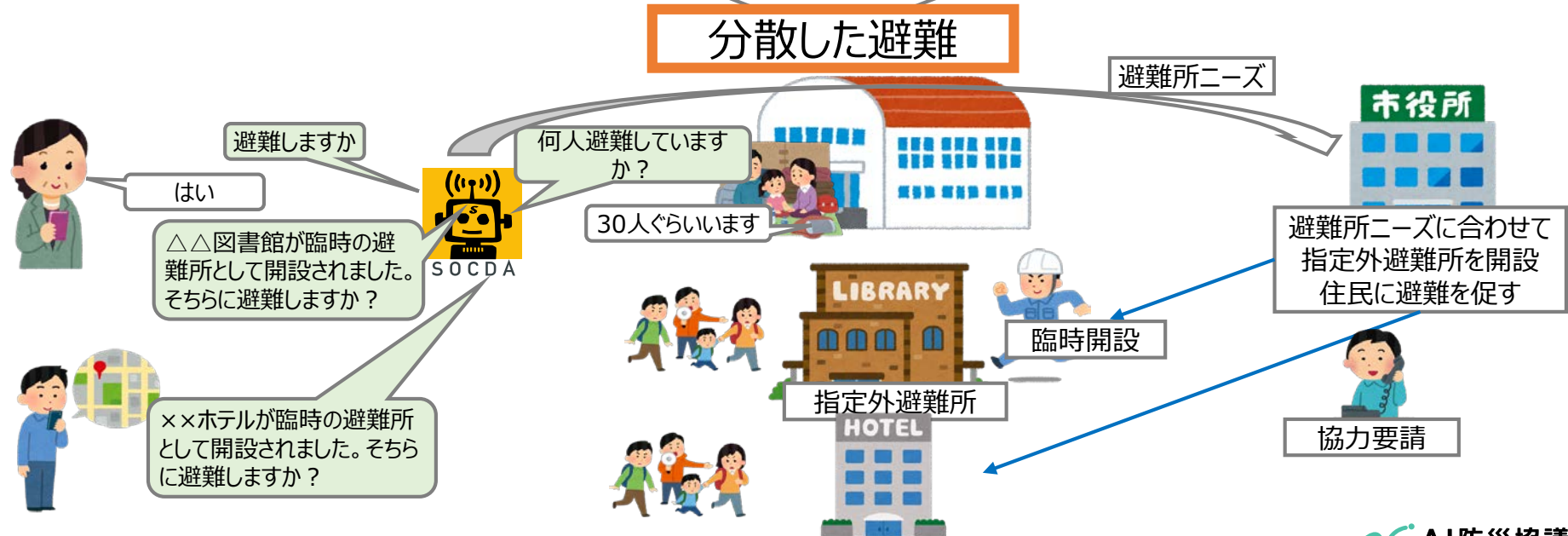
# 目指すべき行動変容（生存避難の場合）

従来の避難所だけではなく、分散した避難を行うために指定外避難所を設ける必要  
住民が指定外避難所についての情報を得て、避難できるようにする連絡手段として防災チャットボットの活用

Before  
CORONA



With  
CORONA



# 目指すべき行動変容（生活避難の場合）

指定外避難所に避難している人についても支援に関する情報を届ける必要  
防災チャットボットを活用してニーズの収集と、情報提供の双方を実施

Before  
CORONA

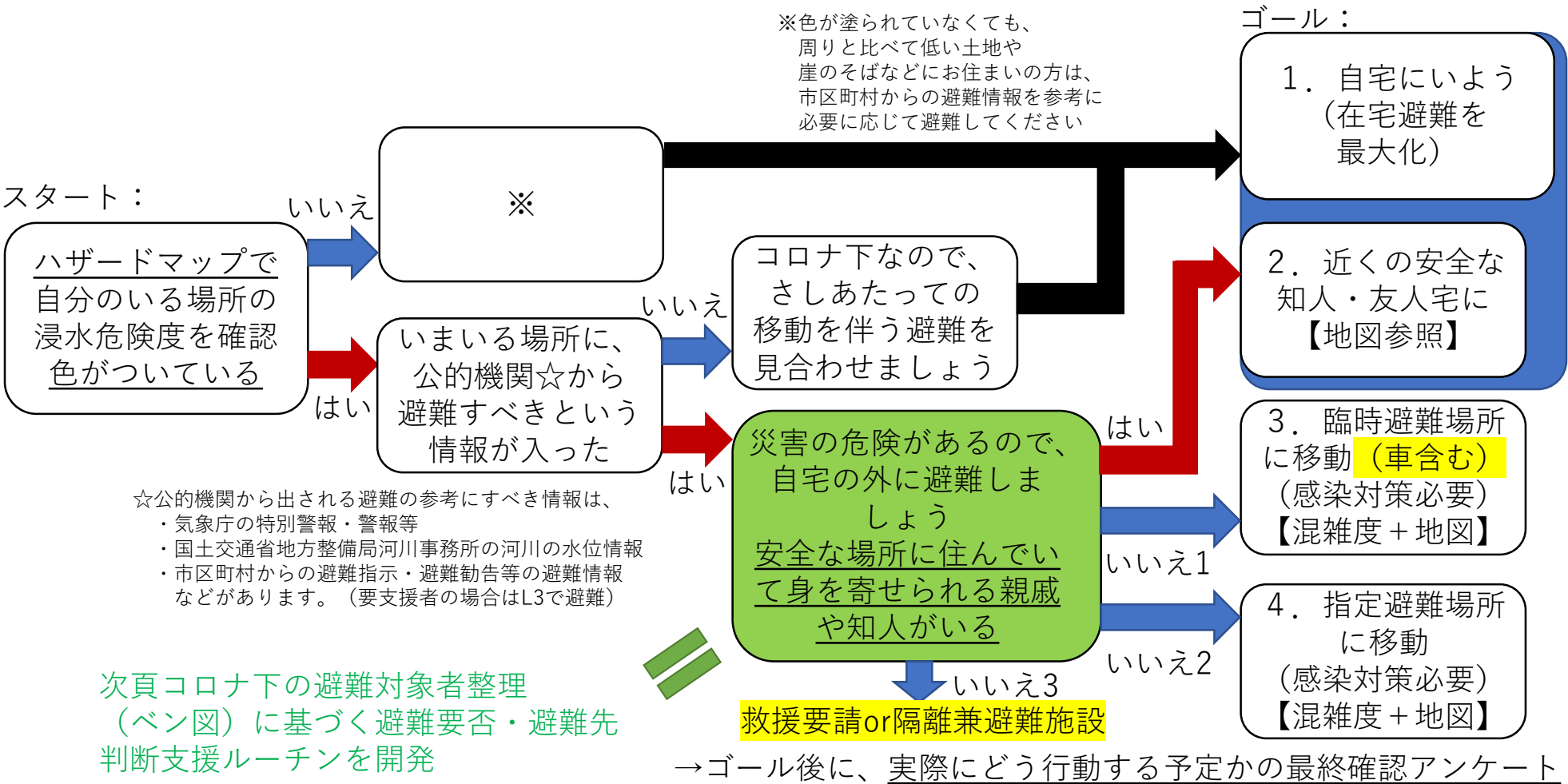


With  
CORONA



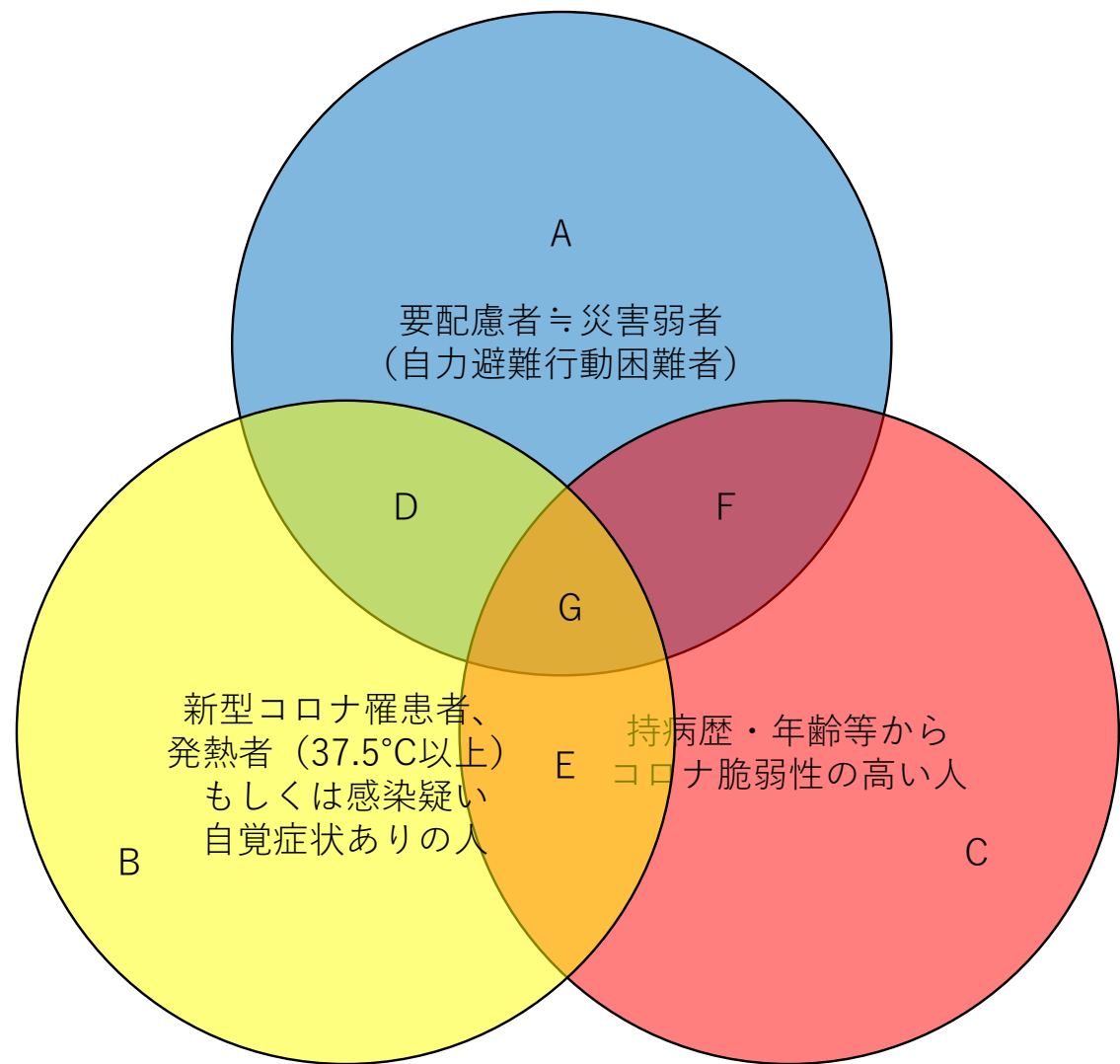
# 防災チャットボットで実施する事項の検討

防災チャットボットに登録時に聞く内容、災害時に聞く内容／提供する情報の検討を開始



# 事前情報による避難者の分類

避難者の属性による案内内容についても検討を開始



取るべき行動】

Z：それ以外の人

A：伊丹市モデルで安否確認

B：LINEによる健康管理

C：混雑度を考慮し、

D：コロナ対応福祉避難所か、  
介助を受けて在宅避難

E：以降検討中

在宅避難

在宅避難

在宅避難

避難場所へ